

## NO.7 熊に気をつけて！

令和4年5月13日

- ・ 5月10日（火）午前6時頃、川尻の金石橋付近で熊の目撃情報
- ・ 5月11日（木）午前9時頃、止々呂美駐在所付近で熊の目撃情報  
午前10時47分頃、とどろみの森学園フェンス越しに熊を目撃
- ・ 5月12日（木）午後3時頃、箕面森町・森林公園付近の山で熊の目撃情報  
\*体長1m位のツキノワグマとのことです。

子ども達の登下校時には、豊能警察や教育委員会、そして学校や地域の方々等がいつもより沢山出て見守り活動をしていただいています。有難うございます。



### <豊能町に出没している熊>

豊能町では、熊が冬眠から覚め、活動が活発になる初夏~夏にかけて出没することが、ここ数年続いています。ツキノワグマは、余り縄張り意識をもたずに、餌が豊富な場所を求め広範囲に行動します。出没している熊は、定住しているものではなく、丹波高地に生息地域が広がっており、山伝いに移動してきたものと思われます。

### <熊との遭遇>

私は、30年余り休日等を利用して、由良川や手取川、神通川などの源流域に出かけ、沢歩き沢登りをしながら動植物の観察や釣りなどをしてきましたので、熊とも何度か遭遇した経験があり「熊と出合わないために」「万が一熊と出合った時にどうするか」など、子ども達に話をしたり、校長先生方にも伝えてきました。

そこで、今回はツキノワグマの特徴や習性についてお伝えします。

1. **体の特徴**→（資料「知れば共存が見えてくるツキノワグマ」より）
2. **ツキノワグマの1年**→（資料「危険生物 MANIAX」より）
3. **熊と出合わないために**

・鈴など音の出るものを持って歩く→人の気配に気づくと基本的に熊は人を避ける

- ・出没时间夕方から朝までは出歩かない→熊が出没している時は、夕方から早朝の外出は特に気を付ける
- ・熊が生息している所に立ち入らない→山菜取りや登山など生息域に入る時は、鈴や笛で知らせ、撃退銃等を持つ。

#### 4. 万が一熊と出合ったら

- ・熊から視線をそらさず後ずさり→背中を向けて逃げるのは絶対にダメ  
背中を向け逃げるものを追いかける習性
- ・後ずさりしても近寄ってくる→持っている食べ物やリュックを置き離れる
- ・熊を興奮させない→鈴や笛を吹く、大きな声を出すなどは絶対にダメ  
熊は、興奮すると襲ってくることが多い
- ・死んだ真似をするのは絶対ダメ→基本的に草食性だが、死肉は食べる

\*熊は前足が発達しており、走るのはボルトより速い、また泳ぐのも上手

\*熊は木登りが上手で、木の上で休憩したり熊棚を作って子育てをする

#### <熊と出合って>

- ・至近距離、・子連れ、・手負い・・・熊、猪どちらにも共通する危険度 MAX



熊と出合って1番危なかったのが、十数年前至近距離で出会ったことでした。神通川の最源流部に入り遡行して5時間、河原が濡れているのを不思議に思い視線を上げると、目の前の岩にツキノワグマも不思議そうにこちらを見えています。少しして熊が左手の茂みに動き、ホッとした途端、もう1頭の熊が右手から現れた時は、さすがに腰を抜かしそうになりました。麓のガソリンスタンドで「良かったなあ、声出したり、背中を向けて逃げたりしたら危なかったよ!」とのこと。

令和2年～3年、白山や美山では大水やナラ枯れで山が荒れ、ブナの実やドングリ等が不作で「熊剥ぎ」が至る所にできています。それも真新しいものばかりでした。全国いろいろな所で熊による被害が報告されました。

今回、豊能町にやってきている熊、トラブルを起こさず、早く生息地に戻ってほしいものです。「熊との共存」みんなで考えたいです。



【参考資料】

### 体の特徴

体重：オスは 60 ～ 150kg   メスは 40 ～ 80kg  
体長：110 ～ 130cm   体高：50 ～ 60cm

- 目** 視力はあまり良くありません。
- 耳** 良く聞こえます。
- 尾** 短くて、目立ちません。
- 体** 秋には食欲が増し、冬眠にむけて脂肪をたくわえます。
- 爪** 爪がすどく木登りが得意です。
- 月輪** 白い月の輪のような模様があります。一頭一頭、形がちがいます。模様がないクマもいます。
- 鼻** 嗅覚は犬のようによいといえます。
- 普通** 普通は用心深く、人に気づくと逃げたり隠れたりします。

### ツキノワグマの一年

**冬眠** 12～4月頃冬眠します。冬眠中に出産します。

冬眠中は何も食べません。

**妊娠** 冬眠にむけてたくさん食べます。十分に栄養をとることができたメスだけが妊娠します。

**冬** 冬眠

**春** 体力回復

プナなどの新芽、千シマザサ、フキ、セリなどの草本

**夏** 繁殖

ハチ、アリなどの昆虫類、ウワミズザクラ、クワ、オニグルミ

**秋** 栄養蓄積

プナ、コナラ、クリなどの堅果類、ヤマブドウ、ミズキ、クルミ

**冬眠した木の洞**

**赤ちゃんグマ**

**親子グマ**

子グマは1歳半頃になるまで、母グマと一緒にいます。

**クマ棚**

繁殖期になるとオスの行動範囲が広がります。

**爪あと**

「知れば共存が見えてくる 兵庫県のツキノワグマ 2017 年度版より」